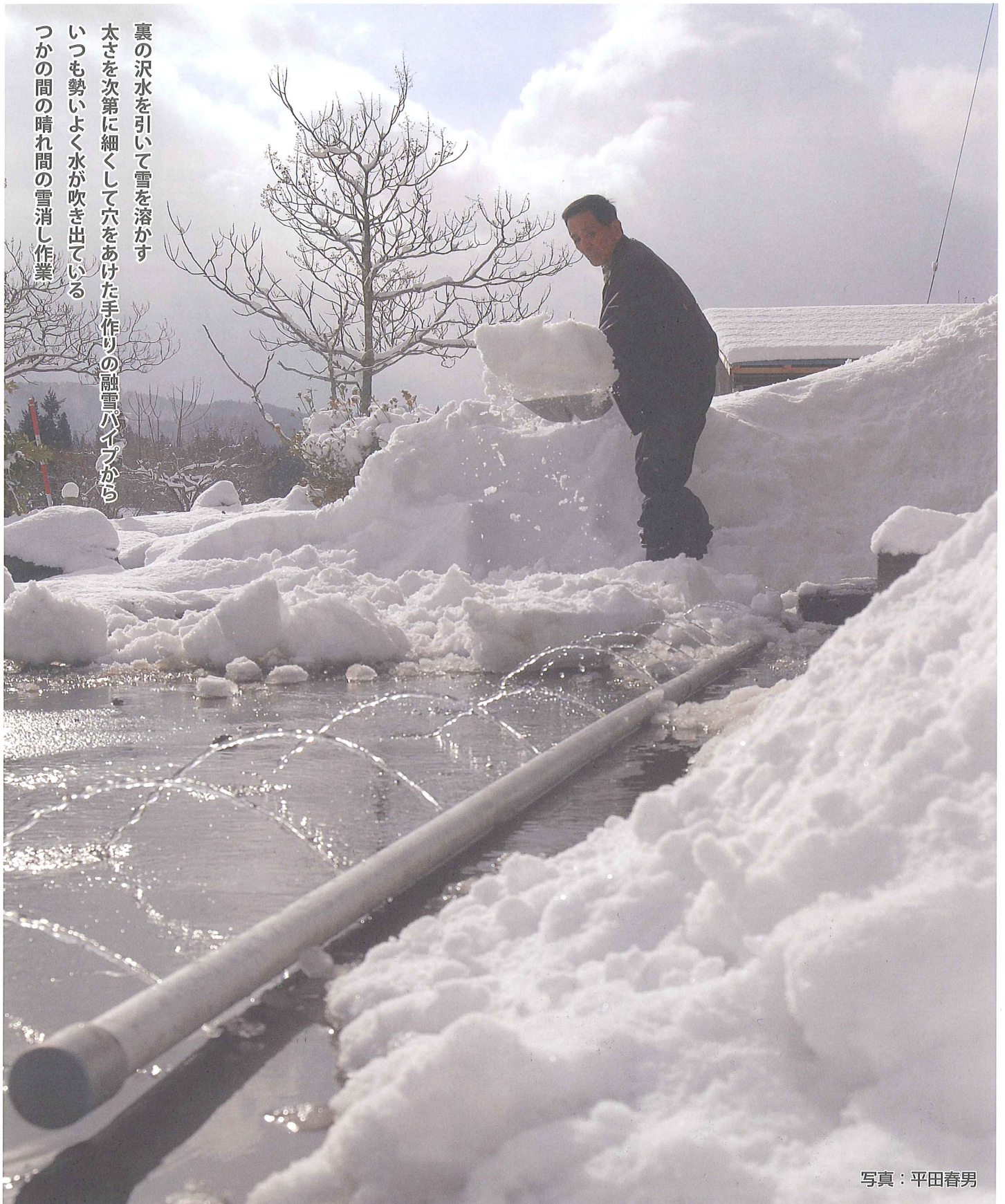


奥会津だより



裏の沢水を引いて雪を溶かす
太さを次第に細くして穴をあけた手作りの融雪パイプから
いつも勢いよく水が吹き出ている
つかの間の晴れ間の雪消し作業

一枚の写真から

平野 まどか★檜枝岐村立檜枝岐中学校 二年

充夫みつおじいは大正十五年生まれの八十五歳。とっても元気でピンピンしている。この写真は、今から四十四年前のものだ。充夫じいはその時の思い出を語ってくれた。へらづくりは、山に小屋をつくることから始まる。小屋づくりの材料にする営林署から買った五十本くらいの木を切って、小屋を建てる。三時間かけて山に登り、小屋を建て、



また三時間かけて下りる。この作業を約一ヶ月、約四十日間行つた。とても容易ではない。この作業が終わる、やっとへらづくりに入る事ができる。優れた木を選び、指定の厚さに切り、型を抜いて、丁寧に削る。一日五百〜六百本のへらを作る。こうして、小屋の周りの木を使い、へらを作つた。しかし、二、三年たつと材料が無くなるので、違う土地に移動し、小屋を一から建てることから、また始めた。根性のないわたしにとつて、こんな重労働を何十年も行ってきた充夫じいは本当にすごいと思う。

祖母、祖父のような辛いことも粘って粘ってやりきれぬような人に自分もなりたい、と思つた。

取材ノート

檜枝岐村で聞く

Q…へらづくりの写真ですね。

充夫さん…この写真が撮られた年が最後で、その後昭和四十二年に尾瀬沼の長蔵小屋に就職したの。だから、昭和四十一年だな。たぶん営林署の担当の人が撮ってくれたものだ。

Q…当時、長蔵小屋ではどれくらいの人が働いていましたか？

充夫さん…大勢の時には、アルバイトませて百人近く。従業員は三十五人くらいだった。春から秋までの半年雇用。

Q…まどかさんは、なぜこの写真を選んだのでしょうか。

まどかさん…そのへらは、村の工芸品でもあるので興味を持ちました。

Q…とっても元気でピンピンしている、とありますが。

充夫さん…今のところはね、一時ヘルニアで腰が良くなかつたけれど…。

Q…へらづくりは、いつから始めたのですか。

充夫さん…終戦で中国の奉天から帰つてきて、昭和二十二年、二十一歳の時から。村の人達がやっていたので、先輩から習つた。

Q…一日に五百本〜六百本のへらを作つた。何の木ですか？

充夫さん…ブナ、直径二尺(約六十センチ)ぐらい。一メートルぐらいのものもあった。

Q…山の仕事は秋からですか？

祖父の弟 平野 充夫さん

(大正15年5月24日生 86歳)

孫 平野まどかさん

(平成9年8月7日生 15歳)

(檜枝岐中学校 3年)

充夫さん…小屋が出来ると仕事を始めた。夏伐ると変色しやすい。冬や春は雪があるから傷まないの、四十日から五十日分ぐらいの丸太を伐つて蓄えて、小屋の中に積み込んでおいた。

Q…へらはいつ、どうやって山から下ろすのでしょうか。

充夫さん…冬場は雪が多くて持つて来られないから小屋の中に積んでおいて、春5月頃になれば「荷出し」と言つて、一俵千本入つているものを各自背負つて下りてくる。力のある人は夏場なら二俵重ねて八十キロ背負ってくる人もあつた。普通は四十キロの一俵。冬は、ソリも使つた。

Q…どんな道具を使つてへらをつくつたのでしょうか。

充夫さん…手ノコ、割りナタ、槌んぼう、板ゼン、柄ケズリセン、ハラセン、セナカセン。

Q…山小屋での作業時間は、何時から何時までですか。

充夫さん…朝四時から五時頃に起きて、夜の九時から十時頃まで。食事の時間もあるから、一日十六時間ぐらい働いた。石油のランプを持って行つた。ほんと、重労働だね。

Q…小屋の周囲どれくらいの範囲の木を伐るのでしょうか。

充夫さん…最初の一年目は小屋の近く

を伐るからいいけど、五百メートルも離れると沢の水もあるし運ぶのが大変。道造つてそこを転ばせることができるのはいいが、できないところは全部背負つて来るしかない。ブナは乾燥すると軽くなるが、生は重かつた。

※檜枝岐村は「檜枝岐歌舞伎」で有名な舞台を「めでん(舞殿)」という。そのカヤブキ屋根の職人もかつては十人ぐらいいたが、後を継ぐ人もなくなり村内に誰も居ないとのこと。まどかさんは、「地元の人で出来なくなつてしまったことが悲しい。」と言う。

※まどかさんは、この春高校進学、"なぎなた部"に入部希望。



(写真/文責…菅 敬浩)

旬の風景

納豆寝せ

お正月用の節(せち)納豆は、年の暮れに寝せる。藁のツツッコに煮豆を詰めて、発熱するように冷水を振り掛け、最後に、発酵を促すために、結んだ藁しべを入れて手早く包む。この作業を必ず二人で行うことで、次代に技術を継承してきた。



水辺の生き物たち

晴れた雪の朝、小川の周囲にはたくさんの動物たちの足跡が残されていて、日中は姿を見せない動物たちの行動を垣間見ることができる。

一直線を成す足跡は、キツネらしい。



薬になる野菜 ネギ



長ネギを細かく刻んでショウガを加え、味噌で和えて熱湯を注ぐ。長ネギは体を温める効果があるので、これ一杯で体が温まり、風邪の引き始めには今もよく用いられる。

また、喉が痛いときに、焼いたネギをガーゼなどに包んで首に巻いた記憶を持つ人も多い。

祈りを纏う暮らし

写真・文 竹島 善一

一月十五日のサイノカミは、御神木を山から伐り出す作業が始まる。

注連縄が結ばれて、杉の木は神木になった。人々の祈りに天と地が呼応し、万物が一体になる。

(平成19年1月 三島町大登地区)



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「めいでん」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、只見町の「アケビヅル籠」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2013年2月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号73号で発表いたします。



◎71号「結っつける」の答え：「結びつける」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



お便り紹介

- また厳しい冬がやってきました。でも奥会津は心暖まる場所であり、冷たい雪まで味方に変えて、スキーや雪まつりなど人々がたくさん訪れることと思います。私は今年も雪まつり巡りをして温泉に入って心も体も温まりたいです!(伊達市 O.Kさん)
- 「祈りを纏う暮らし」の写真をなつかしく見ました。50数年前に入り口の「むしろ」の民家があり、老夫婦で囲炉裏を囲む姿が思い出されました。(須賀川市 H.Hさん)
- 原発事故のため浪江町から柏市内で生活しています。71号のアケビの写真、とても懐かしく思います。浪江に居たときは、春・秋と、友人と里山に行き、山菜採りを楽しんでいましたが、今はとても無理で悲しくなります。一日も早く浪江に帰れる日を楽しみにがんばって生活していきます。(柏市 O.Hさん)
- 只見川電源流域振興協議会の主催で、からむし織の里へ来ることができました。手仕事、大切に保存したいものです。(田村市 G.Hさん)

奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

第3回 歳時記の郷・奥会津ブランドフェア開催!!

奥会津の特産品がせいぞろい。より多くの方に奥会津の特産品やグルメを知っていただくため、福島市を会場に「奥会津物産展」を開催いたしますので、ぜひお越しください。



◇日 時 平成 25 年 3 月 2 日 (土) ~ 3 日 (日)

◇会 場 コラッセふくしま 1 階 観光物産館 (福島市)

東京発着奥会津雪まつりバスツアー

各 1 泊 2 日 1 万円で奥会津各地の雪祭りにあわせた東京発着バスツアーを実施しますので事務局までお問い合わせください。

2 / 2 (土) ~ 3 (日)、2 / 9 (土) ~ 10 (日)、2 / 16 (土) ~ 17 (日)

☎ 0 2 4 1 - 4 8 - 5 5 2 5

1月中旬~3月下旬

奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
1月5日(土)~4月15日(月)	只見町の巨樹・巨木展		ただみブナと川のミュージアム	只見町ブナセンター ☎ 0241-72-8355
1月27日(日)	第40回只見毎日杯Gスラローム大会	只見町	只見スキー場	只見スキー場 ☎ 0241-82-2304
2月2日(土)~3日(日)	会津やないづ冬まつり	柳津町	道の駅会津柳津	会津やないづ冬まつり実行委員会事務局 ☎ 0241-42-2114
2月3日(日)	『大泉寺』豆まき	南郷地域	南郷和泉田『大泉寺』	大泉寺 ☎ 0241-73-2118
2月9日(土)	第41回雪と火のまつり	三島町	三島町町民運動場	三島町観光協会 ☎ 0241-48-5000
2月9日(土)~10日(日)	第41回只見ふるさとの雪まつり	只見町	JR只見駅前広場	只見ふるさとの雪まつり実行委員会 ☎ 0241-82-5240
2月12日(火)~14日(木)	JSBA全日本スノーボード選手権大会 東日本地区大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎ 0241-73-2111
2月16日(土)~17日(日)	第40回クロスカントリースキー伊南杯	伊南地域	伊南杯特設クロスカントリーコース	南会津町総合支援センター伊南 ☎ 0241-76-7714
	第35回会津かねやま雪まつり	金山町	金山町中川グラウンド	金山町観光物産協会 ☎ 0241-54-2311
2月17日(日)	第30回からむし織の里雪まつり	昭和村	からむし織の里	からむし織の里雪まつり実行委員会 ☎ 0241-57-3100
	第33回読売杯南郷スラローム大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎ 0241-73-2111
2月24日(日)	町長杯柳津アルペンスキー大会	柳津町	やないづ温泉スキー場	柳津町B&G海洋センター ☎ 0241-42-2246
3月2日(土)~3日(日)	TADAMIスノースポーツフェスティバル2013	只見町	季の郷湯らり特設会場	只見スポーツ雪遊び実行委員会 ☎ 0241-86-2671
3月4日(月)	ひな流し	三島町	高清水地区	三島町教育委員会 ☎ 0241-48-5599
3月9日(土)~10日(日)	全日本スキー連盟B級公認 第65回福島県スキー選手権大会(技術系)	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	フェアリーランドかねやまスキー場 ☎ 0241-54-2022
3月9日(土)~12日(火)	JSBA全日本スノーボード選手権大会・PSA ASIA PRO TOUR	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎ 0241-73-2111
3月16日(土)~17日(日)	第32回三島町生活工芸品展 第12回全国編み組工芸品展	三島町	生活工芸館 交流センター山びこ	三島町生活工芸館 ☎ 0241-48-5502
	麵ズフェスティバル	金山町	金山町中川地区	奥会津温泉郷協議会事務局 ☎ 0241-54-2855
3月17日(日)	歳時記の郷・奥会津シンポジウム 福寿草まつり	協議会 昭和村	金山町御神楽館 昭和村下中津川下坪地区	只見川電源流域振興協議会 ☎ 0241-48-5525 福寿草まつり実行委員会 ☎ 0241-57-2344
3月中旬	第24回福島民報杯スノーボード南郷CUP 第3回高畑スプリングレース	南郷地域 伊南地域	会津高原南郷スキー場 会津高原高畑スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎ 0241-73-2111 会津高原高畑スキー場 ☎ 0241-76-2231
3月23日(土)~24日(日)	全日本スキー連盟B級公認 スーパースポーツゼビオ カップ2013かねやまGS大会	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	フェアリーランドかねやまスキー場 ☎ 0241-54-2022
3月30日(土)	子ども自然塾 春休み雪中キャンプ	只見町	森林の分校ふざわ周辺	NPO法人ただみコミュニティクラブ ☎ 0241-86-2671
3月31日(日)	2013林千春メモリアルSAF公認記録会 第37回SAF公認朝日杯スラローム大会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎ 0241-75-2432



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：1月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。